

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011 年度 JASSO 派遣報告書

報告者氏名 遠藤春香

平成 24 年度 (入学・編入)

1. 研究課題:

オスマン朝下におけるスーフイズムの思想解明

2. 派遣期間:

平成 24 年 1 月 11 日 ~ 24 年 1 月 19 日 (9 日間)

3. 今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください

本調査の目的は、ヨルダンの首都アンマン市内の書店およびヨルダン大学図書館を中心として、スーフイズム関連の文献収集を行うことであった。

調査者はまずヨルダン大学図書館において、研究に関連した文献の所蔵調査を行った。その後アンマン市内において、イスラーム諸学の書籍を幅広く取り扱った書店をいくつか見つけることができた。そのうちの一つの書店で、探し求めていたアラビア語の人名辞典、およびアラビア語著作辞典を入手した。また別の書店では、本研究の対象である思想家シャアラーニーの著作に加え、彼に影響を与えたイブン・アラビーや、スューティーを始めとした思想家たちの原典も集めることができた。

アンマン市内の本屋はそれぞれ近接しているため、短期間であっても目的としていた書籍の大部分を集めることができた。以上の経緯から、文献収集という本調査の目的はほぼ達成したと言えることができる。

4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や展望について

ヨルダンは以前も渡航したことがあるため、今回の調査は割合効率良く行うことができた。その一方で、アラビア語の会話力が足りないために、資料探しや公共の機関での手続きなどにおいて時間がかかったという側面もある。そこで今回の調査の反省点および今後の課題として、語学力の向上を挙げておきたい。

また調査に行く前に、入手すべき資料のリストをあらかじめ現地語で作っておくことで、より効率良く徹底して調査を慣行することができたと思われる。事前に調査計画を綿密に練っておくことも、今後の課題としたい。

5. 本プログラムに関して意見をお聞かせください。また、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいですか？

今回の調査を行うにあたって、本プログラムの支援は有益なものであった。しかし一月以内の渡航に対し 8 万円の支援やや少ないように感じられた。渡航する国によって (航空券の値段、滞在費などに応じて)、支給金額が異なっても良いように思った。今後は短期間の調査であっても渡航しやすいように、航空券代をカバーしてくれるプログラムがあってほしい。

署名